

# らいん

春日市地域活動指導員だより No.1

平成14年9月18日

教育委員会 社会教育課



「地域ぐるみで子育て」

## 大人が悩むところが貴重な一歩！

はじめまして。地域活動指導員の水城です。生涯学習、地域ぐるみの子育て、学校開放等の推進を目的に7月から活動を開始しました。まず、地域活動の実態を知るために7月から9月上旬にかけて33地区の自治会と小中学校にお伺いしました。なかば押しかけるような訪問にもかかわらず、貴重な時間を割いてお話を聞かせて頂き、誠にありがとうございました。

地域をお伺いする中で、「地域で子育て」という思いから、それぞれの地区でどうやっていこうかと悩み、模索されている様子が見えられました。また、いくつかの地区では公民館の土曜開放など、新しい取り組みが始まっているところもありました。

そこで、『らいん』創刊にあたり今回は参考になると思われる、市内のいくつかの活動事例を紹介させていただきました（別冊）。紹介させていただいた地区も、まだまだ悩みながら試行錯誤を繰り返してある状況です。今回紹介しなかった地区でも、「囲碁教室」「グラウンドゴルフ」「書道教室」「伝承教室」など子どもたちへの公民館開放の動きが始まっているところがあります。また、地域ごとにさまざまな状況の違いもあり一律に論じることは難しく、地区によってはその実状に応じた「子育ての手立て」を私たち大人が知恵を絞っていかねばならないと感じました。自治会をはじめ、公民館、PTA、子ども会育成会、各種ボランティア活動の参考にさせていただけたら幸いです。

## らいんって？

今回の地域活動指導員の配置を契機に不定期ではありますが「地域活動指導員だより」を出すことにしました。地域の青少年育成や生涯学習を推進していく上で、地域と学校そして行政の連携は欠かせません。また、市内各地区の横の情報交換も重要です。そこで、微力ながらこの「地域活動指導員だより」でそのお手伝いをさせていただきたいと思います。地域の輪(和)・人と人の輪(和)をつなぐという意味でこの「たより」を『らいん (Line)』と名付けました。私の名前も水城といいます。今は寸断されておりますが昔はこの北部九州を守る大切なラインだったわけで、丁度いいかなぁ・・・とこじつけたりもしています。

# 「地域ぐるみの子育て」のヒント

## ○ 子ども会育成会と自治会の連携が大切

育成会が自治会組織の中に入っているところと外部に位置付けられているところがありました。いずれにしても、子育ては育成会が中心となるとはいえ地域の大人みんなが担うべきものです。自治会・公民館のサポートが大切だとおもいます。

## ○ 自治会・公民館報の活用

公民館開放のお知らせなどは、回覧だけでは不十分かもしれません。各戸に配布される自治会・公民館便だよりを活用すると、効果が上がるようです。

## ○ 遊び道具や図書の調達は

碁盤、将棋盤、図書などの備品は自治会報や回覧を使って地域の人に寄付してもらっているところが多いようです。また、碁盤はベニヤ板や厚紙に書いた手作りでもいいわけです。そして、子ども達が集まって工夫すれば、お金がかからない色々なおもちゃや道具が生まれてくるようです。

## ○ 協力してくれる地元の人材の発掘

老人クラブや公民館サークルの方々に協力をお願いしましょう。高齢者と子どもの交流は各地のアンビシャス広場でも活動のポイントになっています。大谷地区アンビシャス広場でも高齢者の方がいきいきと活躍されている姿が印象的でした。

「一芸に秀でている必要はなく、見守ってくださるだけでいいのでは。」

## これくらい気楽でもいいのでは

地域に子どもが安心して集える居場所を作ろう

- ① 無理をしないのでできることから
- ② 大人はあれこれ指示をしなで見守るだけ
- ③ 参加人数で活動を評価しない（検討はしても）



## ちょっと聞いた素敵な話

若葉台東の高齢者の皆さん（横田夫妻、島夫妻、松田夫妻、瀬戸さん、北島さん）はこの5年間、毎朝子どもたちの登校時の安全指導と朝の声かけを欠かさず続けておられます。きっかけは小学生が被害にあった不幸な事件でした。そして、あの日以来、「子どもたちを大人が守らねば」というただその思いで今朝も通学路に立ってあります。たぶん、他の地区でも登校指導など子どもたちを温かく見守り、お世話いただいている方々が何人もいらっしゃることでしょう。こういった、「地域の子育てにかかわろう」という大人の輪をすこしづつ広げていきたいものですね。

